

3年生オープンプラン 算数

「円の概念をつかむ」

「1つの点から長さが同じになるようにかいた丸い形」という円の概念をつかむために子どもたちは様々な活動を通して学びました。

5 cm×10 cm長方形の段ボールの端にさした割り箸を円の中心とし、段ボールを回して地面に円を描きました。子どもたちは道具をもらって校庭の好きな場所に走っていき、座り込んで段ボールを回し始めました。「あってきた」「かんたん」などの声があがる子ども。黙々と1つ描いたらその隣にもう1つとどんどん円を描いていく子どもの様子が見られました。

しばらくすると、周りの友だちが描いた円が気になり始めました。他の子どもはどんな円を描いているのか、どのように描いているのか友だちがやっている様子を観察し、さらに美しく円を描こうと探究していた。

「直線だけで円を描こう」と投げかけて授業が始まりました。子どもたちは「無理だよ」と言いながら半信半疑で活動を始めます。まず、円の中心を自分で決め、そこから5 cmの直線をひいていく。1本ひいたら2本目、3本目とどんどん増やしていきます。はじめは、ただ言われた通りにひいている子どもたちであったが、突然子どもの1人が「あっ、円が見えた」と声をあげました。線が増えていくにつれてだんだん円が見えてくる子どもが増えていき、教室の雰囲気不安から驚きや感動に変わっていききました。

